

第2回（仮称）子ども発達支援計画行動計画2024～2026 検討部会の開催結果について

1 概要

- (1) 日時 2023年11月6日（月）18時15分から20時まで
- (2) 場所 市庁舎 会議室10-3、10-4
- (3) 内容 議題2件
- (4) 出席 委員8名、事務局15名、傍聴者0名

2 議題

(1) アンケート・ヒアリング結果について

事務局説明	<ul style="list-style-type: none"> • 資料17を説明
主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> • アンケートの回収率について、関係機関の管理者が51.4%、関係機関の従事者が44.2%、事業所が46.2%で少し低い印象を受ける。（同意見1件あり） • アンケートの回収期間が7月7日から7月21日では短い。このような調査では、1か月から1か月半は必要になると思われる。 • 子どもの意見を尊重しているかについて、「常に子どもの意見を尊重している」18.9%の捉え方だが、「常に」とあると選択することに戸惑いを感じる保護者も多いのではないかと。「内容によって子どもの意見を尊重している」が73.6%あることと合わせて肯定的に評価することも考えられる。

(2) 子ども発達支援計画行動計画2024～2026素案について

事務局説明	<ul style="list-style-type: none">資料18を説明
主なご意見	<ul style="list-style-type: none">素案23ページのコラム案について、町田の丘学園の生徒に行ったヒアリングの結果について掲載されているが、個人が特定されない程度に、もう少し具体的な発言内容を紹介してほしい。(同意見1件あり)素案38ページに「目指す姿1：子どもがさまざまな場面に参加し、意見を発信している」とあるが、特に障がいのあるお子さんの声をどう捉えるかは課題である。今回の1回だけで終わらせず、今後も継続して丁寧に把握していく必要がある。素案41ページの「子ども発達センターの児童発達支援週5日通園」について、現在の利用時間では、就労している保護者は利用しづらく保育園に預けざるを得ない。子どもに発達の課題があり、かつ就労をしている保護者への手立てについて検討してほしい。素案60ページの「重症心身障がい児者等在宅レスパイト事業」について、在宅だけではなく学校等でも利用できる自治体があるので検討してほしい。素案63ページの「高校生療育体験ボランティア事業」については、高校生達の意見を取り入れながら実施することについてコラム形式で取り上げて良いのではないかと。発達障がいの子どもの増加傾向にある中で、必要な支援について判断できる医療機関が市内にない。対応できる療育施設の設置について検討してほしい。

3 今後のスケジュール

第2回部会や第4回子ども・子育て会議からの意見を素案に反映し、今後、市民意見募集や第3回検討部会及び第5回子ども・子育て会議での検討を経て、2024年3月に行動計画を策定する予定です。

■策定スケジュール

2023年12月15日～	素案公表、意見募集
2024年1月下旬	第3回検討部会で計画案検討
2024年2月15日	第5回子ども子育て会議で計画案検討
2024年3月	「町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026」策定